

Ten Commandments

テン コマンドメンツ

知っておきたいキリスト教のことば (88)

十戒 じっかい

十戒とは、シナイ山で神さまがモーセを通して与えた十の戒めのことです。二枚の石の板に書かれた内容は、神さまがイスラエル共同体に対して説いた個人の倫理的な命令となっています。

旧約聖書の出エジプト記 20 章 2～17 節と申命記 5 章 6～21 節に書かれており、イスラエルの民が神さまから与えられたこの掟を守ることで、神さまはイスラエルを自分の民とすると約束する双務契約(お互いが義務を負う契約)が交わされています。

以下は聖公会の祈禱書にある「教会問答」にある十戒です。

①わたしのほかに、何ものをも神としてはならない、②自分のために刻んだ像を造ってはならない、③主の名をみだりに唱えてはならない、④安息日を覚えてこれを聖とせよ、⑤父と母を敬え、⑥殺してはならない、⑦姦淫してはならない、⑧盗んではならない、⑨偽証してはならない、⑩むさぼってはならない

教派によって掟の数え方が違い、隣人の妻を欲するなという戒めと隣人の家をむさぼるなという戒めを、ローマカトリックやルター派は別のものとして数えます。しかし正教会や改革派は一つとして数えます。その代わりに像の禁止を強調しているため、正教会や改革派ではキリストの彫像が礼拝堂に置かれることはありません。

さてイエス様の時代、人々はこれらの戒めを守ることで、救いを得られると信じていました。ところがイエス様は、「昔の人は『殺すな。人を殺した者は裁きを受ける』と命じられている。しかし、わたしは言うておく。兄弟に腹を立てる者はだれでも裁きを受ける」という、さらに厳しい戒めを示されます。このイエス様の言葉は、いくら自分の力で正しい者になろうとしても、人間には無理だということを伝えます。自分の力に頼るのではなく、弱く罪深い自分を認め、神さまに委ねることが必要なのです。そのことによってのみ、わたしたちは神さまの前に立てる者とされるのです。

次回は「使徒」です。お楽しみに。



「モーセの十戒」

レンブラント・ファン・レイン

(1606～1669年)

神はこれらすべての言葉を告げられた。「わたしは主、あなたの神、あなたをエジプトの国、奴隷の家から導き出した神である。

(出エジプト記 20 章 1～2 節)

